



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

12月園だより 令和3年11月26日  
November 26, 2021

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



## 関わることからの育ち

園長 河合 晴美

木々が色鮮やかな園庭は、日の暖かさにも恵まれ、子どもたちが戸外遊びを十分に楽しんでいます。先日は、保育参加と南山まつりに御参加いただくとともに、多大な御協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。行事の中で子どもたちの笑顔がたくさん見られました。園では、子どもたちが安定して過ごす時期から、自分(たち)の力で新たに切り開いていく様々な姿が見られています。その様子を保育参加でご覧いただけたと思います。たくさんの感想もお寄せいただきありがとうございました。

私たち教員は、先日の園内研究会で講師の石井章仁先生がその日に撮影して下さった映像から、私たちの目に入っていないところでの子どもたちの様子を知ることができました。例えば以下のようなエピソードがありました。

- ・見つけたものをきっかけに取り合いになり、叩き合ってしまった A ちゃんと B ちゃん。泣く A ちゃんの姿を見て、B ちゃんは気持ちを静めていく様子が見られました。そして、数分後には、肩を寄せ合い話をしながら互いに心を寄せていく過程がありました。
- ・考えたことを実行しようとした C ちゃん、それを止められ怒りが沸き起こりました。しかし、その気持ちを取り除くように別の場で声を出し、自分自身で気持ちを整えてから戻り、再び遊びを続けていきました。
- ・園庭で遊んでいた D ちゃんは、やってきたさくら組からつくったお寿司をもらいました。片付けのときには、大切なものという認識があるため、自分でそれらを返しに一步、一步 2 階への階段を上って行きました。

これらの姿から、子どもたちは自分と関わる他の存在を受け止めること、関わりの中で自分の気持ちを調整していくことが求められています。一日の生活の中では、ドラマチックとも言える出来事がたくさん起こります。泣いたり、笑ったり、怒ったり・・・子どもたちは様々な状況に置かれる中で出会ったことを乗り越えていく力を蓄えていくのです。その姿が育ちとなるように温かく見守りながら大切に支えていきます。



<5歳児を中心に南山まつりの再現をして遊ぶ>